

専門部会のご意見を伺いたい事項

番号	部局名	あきた未来創造部	課室名	次世代・女性活躍支援課																																																							
1	事項名	若年女性の県内回帰・定着促進に向けた取組について																																																									
内容	コロナ禍により、低密で安全安心な地方への回帰志向が高まっており、進学や就職を機に県外流出が最も多い若年女性の回帰や県内定着を促進する絶好の機会となっているが、情報発信の手法や受け皿のあり方など、今後どのような取組が有効であるかご意見を伺いたい。																																																										
経緯等	<p>○ 「20～39歳人口」の過去5年の社会増減を見ると、いずれの年も女性の社会減の人数は男性を上回っているが、とりわけ「20歳～24歳」の女性については、進学や就職を機に県外流出が最も多いうえ、都会での生活への憧れや利便性から首都圏にそのまま留まる傾向が続いている。こうした若年女性の社会減が、出生数の減少に大きく影響している。</p>																																																										
<p>【参考】20歳～39歳の人口と社会増減の推移（単位：人）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">20歳～39歳人口</th> <th colspan="3">社会増減</th> </tr> <tr> <th>全体</th> <th>男</th> <th>女</th> <th>全体</th> <th>男</th> <th>女</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成27年</td> <td>174,744</td> <td>89,668</td> <td>85,076</td> <td>△ 2,513</td> <td>△ 982</td> <td>△ 1,531</td> </tr> <tr> <td>平成28年</td> <td>167,022</td> <td>85,719</td> <td>81,303</td> <td>△ 2,276</td> <td>△ 938</td> <td>△ 1,338</td> </tr> <tr> <td>平成29年</td> <td>159,821</td> <td>82,253</td> <td>77,568</td> <td>△ 2,377</td> <td>△ 961</td> <td>△ 1,416</td> </tr> <tr> <td>平成30年</td> <td>153,650</td> <td>79,259</td> <td>74,391</td> <td>△ 2,578</td> <td>△ 1,106</td> <td>△ 1,472</td> </tr> <tr> <td>令和元年</td> <td>147,962</td> <td>76,586</td> <td>71,376</td> <td>△ 2,253</td> <td>△ 851</td> <td>△ 1,402</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>803,199</td> <td>413,485</td> <td>389,714</td> <td>△ 11,997</td> <td>△ 4,838</td> <td>△ 7,159</td> </tr> </tbody> </table> <p>（出典）県調査統計課「秋田県年齢別人口流動調査」より</p>						20歳～39歳人口			社会増減			全体	男	女	全体	男	女	平成27年	174,744	89,668	85,076	△ 2,513	△ 982	△ 1,531	平成28年	167,022	85,719	81,303	△ 2,276	△ 938	△ 1,338	平成29年	159,821	82,253	77,568	△ 2,377	△ 961	△ 1,416	平成30年	153,650	79,259	74,391	△ 2,578	△ 1,106	△ 1,472	令和元年	147,962	76,586	71,376	△ 2,253	△ 851	△ 1,402	計	803,199	413,485	389,714	△ 11,997	△ 4,838	△ 7,159
	20歳～39歳人口			社会増減																																																							
	全体	男	女	全体	男	女																																																					
平成27年	174,744	89,668	85,076	△ 2,513	△ 982	△ 1,531																																																					
平成28年	167,022	85,719	81,303	△ 2,276	△ 938	△ 1,338																																																					
平成29年	159,821	82,253	77,568	△ 2,377	△ 961	△ 1,416																																																					
平成30年	153,650	79,259	74,391	△ 2,578	△ 1,106	△ 1,472																																																					
令和元年	147,962	76,586	71,376	△ 2,253	△ 851	△ 1,402																																																					
計	803,199	413,485	389,714	△ 11,997	△ 4,838	△ 7,159																																																					
<p>○ 令和2年5月に内閣府において実施した「東京圏在住者の地方暮らしの意識・行動を把握するためのグループインタビュー」から、地方圏出身の20～30代の女性が地元に戻らない理由として、以下の点を挙げている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間関係が固定されすぎて辟易していた。1日の行動や情報が周りに伝わりやすい。(28歳／未婚女性) ・地元に戻りたいけど、今のこの歳で戻るというのは肩身が狭い。ずっと仕事はしたいけど、女性は家にいるものだという意識が根強く残っているので、そういうのは苦しいかなと思う。(32歳／未婚女性) ・東京に漫然とした憧れがあった。おしゃれなカフェがあるとか、仕事が休みのときに行きたいライブに行けるとか。自分の好きなことができると思った。(25歳／既婚子あり女性) ・ある程度生活レベルを保てると見込めないと移住に踏み切れない。ネットなどに書いてることも本当にそうか分からぬ。(33歳／既婚子あり女性) ・ただ転職で戻っただけでも周りにワケありと思われる。(30歳／未婚女性) ・田舎のほうはみんな同じがいいという空気がある。東京は個々の人種を認めてくれる。(28歳／未婚女性) <p>○ 今後、本県に移住した若年女性に対するヒアリング等を行い、当事者としての意見も伺う予定。</p>																																																											